

# 第3編 航空交通

## 第1章 航空交通事故の動向

### 1 近年の航空交通事故の状況

我が国における民間航空機の事故の発生件数は、平成18年において18件であり、これに伴う死者数は4人、負傷者数は10人である。近年は、大型飛行機による航空事故は、乱気流によるものを中心に年2、3件程度にとどまり、小型飛行機等が事故の大半を占めている（第3-1表）。

### 2 平成18年中の航空交通の安全上のトラブルの状況

我が国の特定本邦航空運送事業者（客席数が100又は最大離陸重量が5万キログラムを超える航空機

を使用して航空運送事業を営する本邦航空運送事業者）における乗客死亡事故は、昭和60年の日本航空123便の御巣鷹山墜落事故以降発生していない。しかしながら、平成17年1月以降、我が国の航空運送事業者においては、ヒューマンエラーや機材不具合に起因するトラブルが連続して発生しており、平成18年においても、スカイマーク㈱が修理期限を超過して運航したほか、日本航空グループが主脚の検査期限を超過して運航していた事案があり、平成19年3月には、全日空便のボンバルディア機が、高知空港において前脚が出ない状態で着陸するという航空事故が発生した。

第3-1表 航空事故発生件数及び死傷者数の推移（民間航空機）

区分 年	発生件数								死傷者数	
	大型 飛行機	小型 飛行機	超軽量 動力機	ヘリコ プター	ジャイロ プレーン	滑空機	飛行船	計	死亡者	負傷者
	件	件	件	件	件	件	件	件	人	人
平成14年	4	4	5	15	0	7	0	35	13	65
15	3	10	3	1	0	2	0	19	12	13
16	5	11	2	6	1	3	0	28	14	26
17	1	8	0	7	0	7	0	23	16	20
18	3	3	4	2	1	5	0	18	4	10

- 注 1 国土交通省資料による。  
 2 各年12月末現在の値である。  
 3 日本の国外で発生した我が国の航空機に係る事故を含む（平成15年1件，16年2件）。  
 4 日本の国内で発生した外国の航空機に係る事故を含む（平成15年1件，17年2件）。  
 5 事故発生件数及び死傷者数には、機内における自然死、自己又は他人の加害行為に起因する死亡等に係るものは含まない。  
 6 死亡者数は、30日以内死亡者数であり、行方不明者等が含まれる。  
 7 平成17、18年の負傷者数は暫定値である。